

季節性インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために 日ごろの健康管理・医療機関への電話相談を！

季節性インフルエンザが流行する時期になりました。日ごろの健康管理を充分に行いましょう。また、発熱などで受診したい際には、事前に医療機関へ電話で相談をしましょう。
問合せ／保健総務課(☎305-6291)

ご協力を
お願いします！



まずは電話で受診の相談を！

発熱などの際は、受診をする前に、身近な医療機関へ電話で相談してください。

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザは、症状が似ているので区別が付きません。市内の各医療機関では、診療を予約制にしたり、発熱の

患者専用の診療時間を設けたりするなど、各種の対策を行っています。誰もが安心して、スムーズに医療機関を受診できるようにするため、直接、医療機関へ行くのではなく、まずは電話で受診の相談をしましょう。

冬の予防3原則の励行を！

換気

寒くなると窓を閉切りがちです。定期的に換気しましょう。

加湿

空気を乾燥させないように、適切に加湿しましょう。

手洗い

丁寧に洗ったり、消毒したりして、清潔に保ちましょう。

流行状況に関心を持つ

感染症には、流行する時期があります。自分や家族の周りで、どのような症状の病気が流行しているか把握しておきましょう。体調がすぐれないときに医療機関を受診する目安となります。また、相談・受診の際に、医療機関から、職場・学校などでの感染症の流行状況などを聞かれる場合もあります。

自分や家族の健康状態を把握しよう

体調がすぐれないときに、症状に合った適切な医療機関を受診するためには、日ごろから自分や家族の健康状態を把握しておくことが大切です。平熱は何℃か、持病はあるか、かかりつけの医療機関はどこかなどを、家族で確認しておくことで、いち早く体調の変化に気づき、早期の相談・受診につなげることができます。

また、かかりつけ医のいない方は、体調がすぐれないときに受診する医療機関を、事前に調べておきましょう。

▼いばらき医療機関情報ネット

インターネット上で、診療科目や受付時間などを調べることができます。

ホームページ…<https://www.ibaraki-medinfo.jp>



急な病気やケガなどの場合に判断に迷ったら…

インターネットによる救急相談

・全国版救急受診アプリ「Q助」

症状を選択していくと、緊急度や対応が表示されます。

ホームページ…<https://www.fdma.go.jp>

・こどもの救急(生後1か月～6歳児)

休日や夜間の診療時間外に、医療機関を受診するかの判断の目安を提供しています。

ホームページ…<http://kodomo-qq.jp>



電話による救急相談・医療機関案内

急な病気やケガなどの相談や受診可能な医療機関の案内を、看護師が24時間体制で行っています(歯科を除く)。

茨城子ども救急電話相談(14歳以下)
#8000 ☎03-6667-3377

茨城おとな救急電話相談(15歳以上)
#7119 ☎03-6667-3377